

## グデ・パンランゴ国立公園へ ようこそ！

グデ・パンランゴ国立公園はインドネシアの自然保護の歴史、また生物多様性保全において、非常に重要なポジションに位置しています。ジャカルタからわずか100km、21,975haの広大な美しい自然の原生林は、1980年にインドネシアで初めての国立公園の一つとして指定されました。

この熱帯多雨林のジャングルは樹高50mを超えるラサマラ、世界最大の花ラフレシアや食虫植物ウツボカズラ、美しい野生ラン、まだ解明されていない光るキノコなど珍しい植物のほかに、子供の頃に図鑑で見た憧れのコーカサス・オオカブトムシ、全身を硬い鱗に覆われたセンザンコウ、また絶滅の危機に瀕しているジャワテナガザルやヒョウ、ジャワクマタカなどの希少動物に出くわすかも知れません。ハイキングを通じてインドネシアのジャングルに棲む動植物達の驚くべき生態を垣間見るチャンスとなります。

また、避暑地として週末のチボダスは、国立公園H.Q.に隣接するチボダス植物園やパサール(土曜日)が沿道に立ち並び、周辺の畑で取れた新鮮で安価な野菜やフルーツ、お土産を求める観光客で賑わいます。

普段とは一味違う、贅沢な休日にはグデ・パンランゴ国立公園の素晴らしい環境の下、自然と一体となってその静寂に身を任せてみてください。その生態系が織り成す優れた自然の芸術を「感じ」、「学ぶ」ことができるはずです。

私たちはこのかけがえのない自然の遺産を後世に残し、自然の与えてくれた貴重な贈り物を皆さんと分かち合いたいです。



「永遠の花」エーデルワイス

全ての登山者は登山の1ヶ月から2日前までにチボダスの国立公園管理事務所へ入山許可証を入手しなければなりません。登山は**最長2日間**まで許可されます。また**1月1日～3月31日及び8月中は悪天候と自然再生のために登山は禁止**されています。

注：外国人観光客は、特別に登山当日に公園管理事務所へ入山許可証の入手が可能です。

### 登山ルール

1. 入山、下山時はパーク・レンジャーに報告して下さい。その際に所持品、入山許可証をチェックします。
2. 園内にペットの持ち込みはできません。
3. 火器・武器類、及びナイフ(刃渡り12cm以上)の持ち込みはできません。
4. 園内でキャンプファイヤーはできません。
5. 公園内のものに対する落書き・移動等の破壊行為を禁じます。
6. 公園内のいかなる動植物の採集も違法となります。
7. メイントレールを歩きましょう。近道は危険を伴うほか自然にダメージを与えます。
8. ゴミを捨てないで！各自持ち帰りましょう。シャンプー、石鹸は川の汚染につながるため使用できません。
9. ラジオ、楽器、アルコール類の持込はできません。

### 登山にかかる料金

登山料 Rp. 20,000 / 1人 / 1日 (外国人)  
Rp. 2,500 / 1人 / 1日 (国内人)  
保険料 Rp. 2,000 / 1人

- \* これらの収入は国立公園の管理に使用されます。
- \* KTP, KITAS保有者は国内人料金の適用を受けられます。

### 提出書類(外国人観光客)

1. 身分証明書のコピー(パスポート、KTM、KITAS、SIM、学生証)。提出されたコピーは返却されません。
2. 17才未満の場合、両親の承諾書。

Take nothing but photographs  
Leave nothing but footprints

 <p><b>Taman Nasional Gunung Gede Pangrango</b> Jl. Raya Cibodas Po. Box 3 Sdl Cipanas - Cianjur 43253</p>	
公園事務所受付時間	
月曜日 - 木曜日	07:30 - 15:30
金曜日	07:30 - 14:30
土・日曜日	08:00 - 14:00
Phone / Fax : 0263-512776 E-mail : eegashira@yahoo.co.jp Website : http://www.tngp.or.id	

グデ・パンランゴ国立公園  
登山インフォメーション

## Hiking in Mt. Gede Pangrango National Park

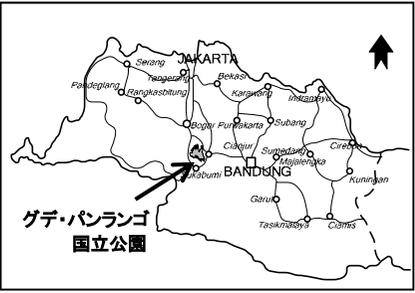
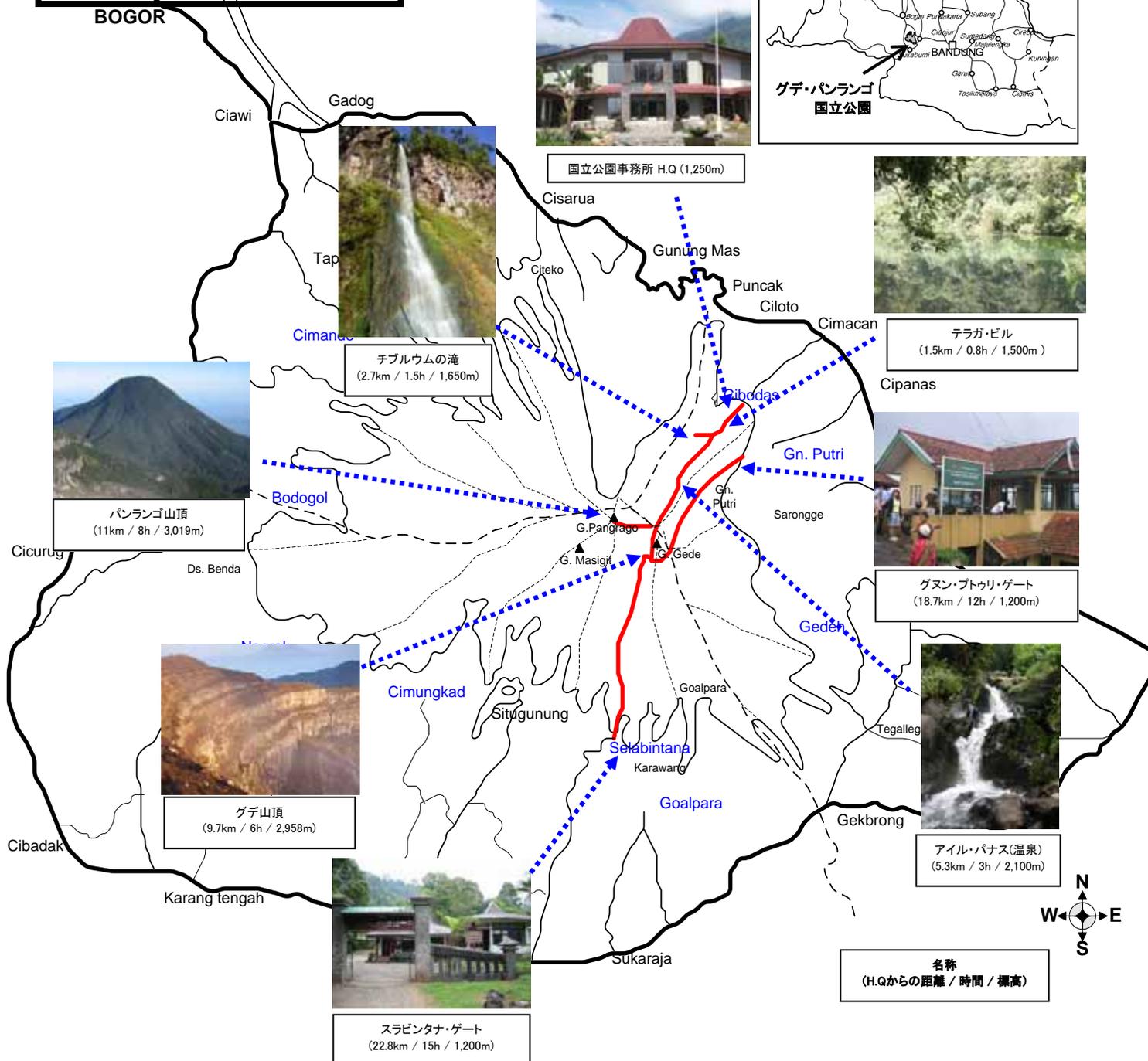


*"By far the most interesting incident in my visit to Java was a trip to the summit of the Pangerango and Gedeh Mountains..."*  
Alfred Russel Wallace .1861

グデ・パンランゴ国立公園

西ジャワ州 インドネシア

# グデ・パンランゴ国立公園 登山道



## 気候

乾季は5月から9月、雨季は11月から4月で、特に1-2月は暴風雨になり非常に危険です。年間を通して雨は多く年間降水量は約4,000mm。チボダスの平均気温は23度、山頂は風も強く5度まで下がることもあり、防寒対策が必要です。

## 宿泊

チボダス及びブンチャック周辺には民宿やホテルがたくさんあり、料金もRp.100,000~Rp.400,000と手頃です。公園の宿泊施設も利用できます。

## 食料と飲み物

国立公園内には売店や食堂はない為、各自で食料と飲み物を十分に用意して下さい。これらはチボダスでも買うこともできます。登山道周辺には湧き水も多いですが、必ずしも飲用とは限りません(\* 要煮沸)。

## トイレ

登山道には数トイレがありませんので野外で用を足すことになります。トイレトペーパーを持参し、水に溶けにくいティッシュペーパーの使用は避けてください。

## 携帯電話

Telkomselならば登山道全域、それ以外はチボダス登山口から2km付近まで通話が可能です。但し気象条件などに左右されますので、山に入ってから携帯電話の利用はあてにしないようにしましょう。

## 持ち物

日帰り登山では雨具、食料、飲料、懐中電灯。キャンプをする予定ならばさらに料理道具、寝袋、マットレス、防寒具が必要です。チボダスには何軒かアウトドア用品店があり、そこで装備のレンタルも可能です。大きなごみ袋は敷物代わり、雨対策、防寒などの用途にも使えて便利です。日本のように食事や寝泊りができるような山小屋はありません。

## ガイド・ポーター

初めての登山では事前予約にて公園職員もしくはボランティアによるガイドを付けることをお勧めします。ガイド料金は1泊2日でRp.250,000~。同様にポーターの利用もできます。

## グデ・パンランゴ国立公園へのアクセス

**車を利用する場合は**、ジャカルタから高速道路に入りボゴール方面へ。高速道路出口ガドグ(Gadog)を出てブンチャック/バンドウン方面に向かいます。ブンチャック峠を越えて7.6km、アウトレット「DSE」の先の三叉路を右折し(左手に国立公園の看板あり)、直進3kmでチボダス観光地区の入場ゲートに着くので入場料を払いません(乗用車Rp. 3,000、入場料Rp. 1,000)。左手にチボダス植物園を見ながらさらに直進した右側、マンダラワンギ(Mandalawangi)駐車場の隣が国立公園管理事務所です。パークキングは公園管理事務所の駐車場が無料で利用できます。

**バスを利用する場合は**ジャカルタからブンチャックを経由するバスに乗り、チボダスで降ります。そこからは黄色いミニバスが頻繁に国立公園まで走っています(Rp. 2,000)。

**国立公園事務所からチボダス登山道入口までは**チボダス植物園とゴルフ場の脇の砂利道を徒歩で500m。